



2025年2月12日

各 位

会 社 名 株式会社京都きもの友禅ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 浅香 竜也  
(コード番号 7615 東証スタンダード)  
問 合 せ 先 経 営 管 理 部 渡 部 真 由  
( T E L . 0 3 - 3 6 3 9 - 9 1 9 1 )

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2024年5月13日に公表した業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2025年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,655	△292	△308	△380	△33.74
今回修正予想(B)	5,492	△672	△686	△828	△58.92
増減額(B-A)	△163	△379	△377	△448	—
増減率(%)	△2.9	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	7,022	△1,039	△1,055	△1,342	△119.47

#### 2. 修正の理由

当社グループでは、2025年3月期を収益性改善のための再生フェーズと位置づけ、抜本的改革のための検討・分析を重ね、特に下半期以降は各施策を実行に移すフェーズとして取り組んでまいりました。

既に一般呉服、振袖に関する改善施策の運用を開始しておりますが、その効果発現には一定の期間を要することから、売上高については、第2四半期連結累計期間までの減少を補填するには至らず当初計画を下回る見込みとなりました。

また、仕入フローの見直し等による原価率の低減にも取り組んでおり、その改善効果は徐々に表れておりますが、第3四半期連結累計期間における粗利益率は当初の想定を下回って推移いたしました。

次に、コスト削減等については、広告施策・催事形態の見直しや店舗固定費の圧縮等により経費全体の削減が着実に実現できておりますが、前述の売上高減少、原価率改善の未達成、さらに来期以降の黒字化に向けた先行費用が第4四半期において発生する見込みであることから、通期における営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、いずれも当初計画を下回る見込みであります。

なお、2026年3月期以降の黒字化を目指した複数のプロジェクトは引き続き進行中であり、よって、2024年11月14日に開示した2026年3月期の計画値については、現時点で変更はありません。

今後の見通し

(単位：百万円)

	2025年3月期 業績予想	2026年3月期 計画	2027年3月期 計画
売上高	5,492	5,909	5,909
営業利益	△672	66	94

(注) 上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上